

米沢城 山形県米沢市丸の内 1

戦国時代後期には、伊達氏の本拠地が置かれ伊達政宗の出生した城で24歳になるまで米沢で過ごした。1598年に上杉景勝が米沢藩の初代藩主となり、時の重臣であった直江兼続は米沢の礎を築いたとされています。平城で、本丸・二の丸・三の丸からなる輪郭式縄張りの城である。10基の櫓と17棟の門が開かれた。上杉氏による築城（大改修）当時は30万石の大名の居城であって、石垣は少なく、土塁を多用し天守は構えられず、本丸に東北隅と西北隅に2基の三階櫓を建てて天守の代用（御三階）としていた。現在、本丸跡は上杉神社の境内となっている。（パンフ、説明版、旅コト塾300藩②）



米沢城の説明版



上杉と伊達は「竹に雀」で似ている



景勝と兼続の像



謙信銅像



上杉神社参道



宝物殿



上杉義山の碑



謙信の御堂



上杉神社